七、万歳三唱　閉会　八、懇親会

○芳川哲　閉会の辞

私は今から小石川労働会大工分会発会式を終了させ[illegible]たるを喜ぶ。従来小石川労働会は其の[illegible]私は先年以来屢々先輩と共に運動いたしましたが[illegible]同志は年々破れ伏せられしまするは[illegible]組織は出来ました。此の時小石川労働会が生れたる事は小石川労働会たらしめなかった。全然官業労働者二十二名[illegible]大なる効果をもたらした事と思いますが現今[illegible]は非常に大なる自然的の運動会は此に[illegible]居る[illegible]皆様は今日発会式を行ひましたが[illegible]

殊に此の官業運動は行なわれるとしても効果を[illegible]ものである兵器局長自ら四ヶ月以後は大多数を解雇すると言明し私等は四ヶ月後には非常な職務の[illegible]に困るのではないかといふた此の事を考へれば我々は一時大臣に歎願して相当の効果を修めて[illegible]数度交渉の結果、現在迄に[illegible]るも四十工手の[illegible]を止めた。一件いたしも山梨大臣は[illegible]甚だ非なしと[illegible]失した事を[illegible]此の而も求むるや現在の官業労働者の[illegible]たる七十幾の[illegible]題である[illegible]吾は一に團結するのみにして團結の威力を以て達成する[illegible]いたります。此の度び大工分会が生れたるを[illegible]

財團法人 協調會
法人 協調會